

令和8年度使用教科書選定理由書

【1 選定に係る基本方針】

県立常盤高等学校

高度化する医療に対応できる看護実践能力と研究能力を備えた人材を育成することは、「看護専門識者」を養成する本校の使命である。本校の教育目標は「高等学校普通教育及び看護に関する専門教育を通して調和のとれた人格の完成をめざすとともに、確かな知識・技術を修得させ、地域社会の保健衛生の充実、発展に貢献し得る優秀な看護識者を養成する。」である。

その目標を具現化するために、広い視野に立った看護観を育てることを目指した「豊かな人間性」、臨床に即した看護実践能力を育てることを目指した「確かな知識・技術」、看護の探究、研究的態度を養うことを目指した「科学的思考・判断力」の育成、の3つを柱としている。さらにこの3つを総括していく「生涯学び続ける力」を育てることにより、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するものとする。

そのため、教科書選定における観点として、「広い視野に立った考え方を育てることができるか」「社会で活用できる実践的能力を育てることができるか」「探究・研究的態度を養うことができるか」の3つをあげるものとする。

※ 学習指導要領、学校教育目標、学校や学科の特色、生徒の実態等を踏まえて、学校としてどのような方針をもって教科書選定を行うかを示す。